平成２６年１月８日
相模原市発表資料

平成25年中における火災の概要（速報値）

平成25年中の火災件数177件、前年に比べ10件減少

①　火災件数は177件、前年比10件の減少

火災件数は177件で、前年より10件減少しました。

火災種別ごとに見ると、建物火災が９４件(前年比7件減)、林野火災が４件（前年比3件増）、車両火災が１２件（前年比１８件減）、その他の火災が67件（前年比12件増）となっています。

②　出火原因の第1位は「放火（放火の疑い含む）」、続いて「たばこ」「火遊び」

全火災177件を出火原因別にみると「放火（放火の疑い含む）」35件(19．8%)、「たばこ」28件（15．8%）、「火遊び」17件（9．6%）、「こんろ」16件（9．0%）、「配線器具」9件（5．1%）の順となっています。

③　火災による死傷者が減少

火災による死者は6人で、前年に比べると2人減少しました。

火災種別ごとにみると、建物火災が5人で、その他の火災が１人となっており、死者6人の内2人が放火自殺によるものでした。

負傷者については、32人で前年より7人減少しました。

④　り災世帯及びり災人員が減少

り災世帯は82世帯で、前年に比べると13世帯減少しました。

り災人員は165人で、前年に比べると43人減少しました。

⑤　建物焼損棟数、損害額及び焼損面積が減少

焼損棟数は109棟で、前年に比べると28棟減少しました。

損害額は1億2，255万9千円で、前年に比べると6,878万8千円減少しました。

焼損面積は1，117㎡で、前年に比べると2，296㎡減少しました。

◆火災の原因のトップが放火

相模原市では昭和61年以降放火が火災発生原因の第1位で、全国的にみても多く発生しています。放火による火災から身を守るには、整理整頓と監視が大切です。下記のチェックポイントにそって一度身の回りを点検してください。

☆☆☆放火防止のための安全チェック☆☆☆

- □ 家の周りに燃えやすいものを置かない、また枯れ草は刈り取っておく
- □ ごみは、決められた日時に出す
- □ センサー付きライトなどを設置し、夜間も家の周りを明るくしておく
- □ 物置や車庫にはカギをかける
- □ 車やオートバイのカバーには、防炎製品を使用する

◆ライターによる火遊びを防ぎましょう。

子どもの火遊びによる火災のほとんどがライターによるものです。ライターによる火遊びを防ぐには、周囲の大人の注意が欠かせません。次の点に注意しましょう。

・ 子どもの手の届かないところにおきましょう。
・ 子どもに触らせず、火遊びの危険性を教えましょう。
・ 不要なライターはきちんと処分しましょう。
・ 子どもが簡単にいたずらできないライター（チャイルドレジスタンス機能）を使いましょう。

◆火のそばを離れない

住宅火災の原因は毎年「こんろ」によるものが上位を占めます。中でも天ぷら油による火災は、危険性が広く知られているにもかかわらず、減少する傾向にありません。「少しだけなら」と火のそばを離れるのは、絶対やめてください。こんろを使用しているときは、どんな場合でも火を止めるまでは、目を離さないようにしましょう。

◆住宅用火災警報器の設置はお済みですか。

住宅用火災警報器を取付けていたことにより、火災になる前に異常に気付き、「火災に至らなかった」という事例が増えています。

まだ取付けていないお宅は早めの設置をお願いします。

既に取付けているお宅では、取扱説明書を確認し、維持管理に努めましょう。

問い合わせ先
消防局予防課
042-751-9117

資料1

火災概要

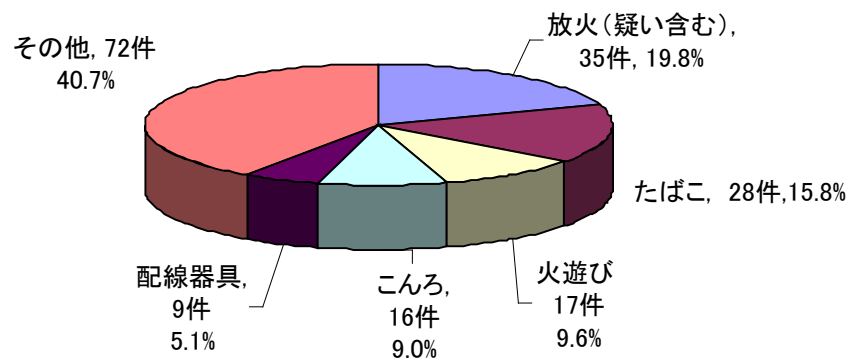
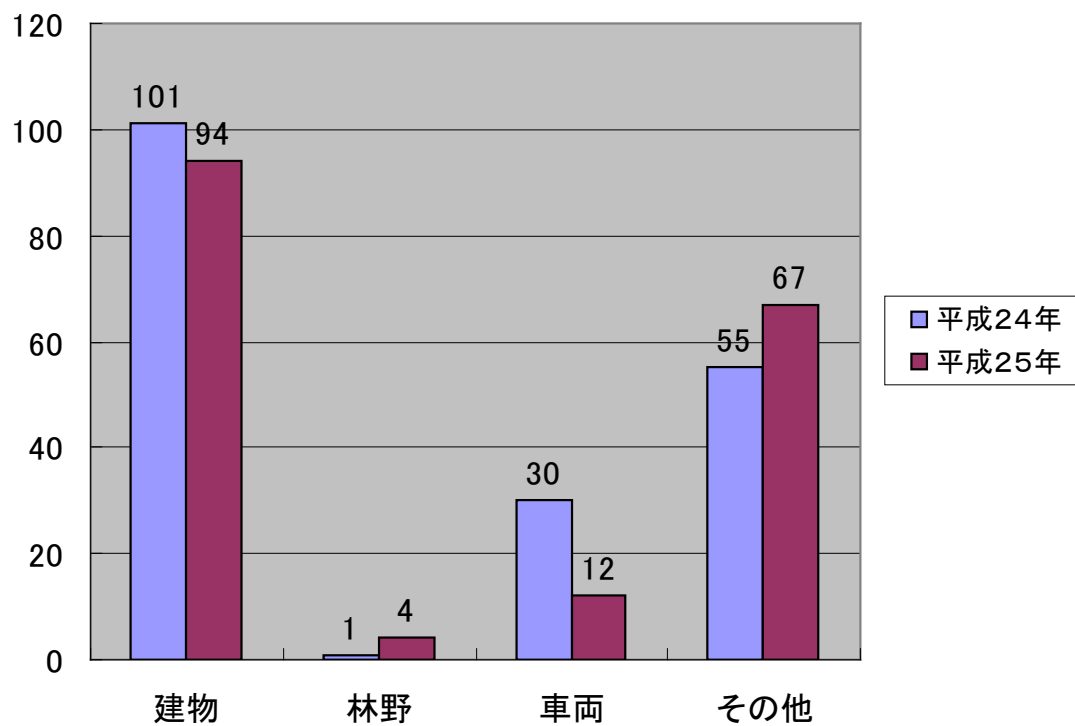
項目		平成25年	平成24年	前年増減
合計		177(100%)	187(100%)	▲10
火災種別	建物	94(53.1%)	101(54.0%)	▲7
	林野	4(2.3%)	1(0.5%)	3
	車両	12(6.8%)	30(16.1%)	▲18
	その他	67(37.8%)	55(29.4%)	12
原因別	失火	127(71.7%)	133(71.1%)	▲6
	放火(疑い含む)	35(19.8%)	38(20.3%)	▲3
	不明	15(8.5%)	16(8.6%)	▲1
建物焼損面積(㎡)		1,117	3,413	▲2,296
焼損棟数		109	137	▲28
り災世帯		82	95	▲13
り災人員		165	208	▲43
死者		6	8	▲2
負傷者		32	39	▲7
損害額(円)		1億2,255万9千円	1億9,134万7千円	▲6,878万8千円

出火原因

平成25年 177件			平成24年 187件		
順位	出火原因	件数	順位	出火原因	件数
1	放火(疑い含む)	35(19.8%)	1	放火(疑い含む)	38(20.3%)
2	たばこ	28(15.8%)	2	たばこ	27(14.4%)
3	火遊び	17(9.6%)	3	こんろ	21(11.3%)
4	こんろ	16(9.0%)	4	電灯等の配線	11(5.9%)
5	配線器具	9(5.1%)	5	排気管	6(3.2%)
その他		72(40.7%)	その他		84(44.9%)

資料２

平成25年中の主な出火原因
放火（疑い含む）,
35件, 19.8%
たばこ, 28件,15.8%
火遊び
17件
9.6%
こんろ,
16件
9.0%
配線器具,
9件
5.1%
その他, 72件
40.7%

火災種別ごとの件数
120
100
80
60
40
20
0
101
94
1
4
30
12
55
67
建物
林野
車両
その他
平成24年
平成25年

平成２５年中における救急の概要（速報値）

救急出場件数は３３，６８８件、搬送人員は３０，３９３人で、ともに過去最多となりました。

平成２５年中の救急出場件数は３３，６８８件（対前年比１，４７０件増、４．６％増）で、搬送人員は３０，３９３人（対前年比１，００３人増、３．４％増）で、救急出場件数、搬送人員ともに増加し、過去最多となりました。

事故種別では、急病が２０，９４４件（対前年比９３９件増）で約６２．２％を占め、次いで一般負傷が４，２８３件（対前年比２０９件増)、交通事故が３，１０１件（対前年比７４件減）の順となっています。

また、１日平均９２件、約１５．６分に１回の割合で救急隊が出場したこととなり、市民の約２１人に１人が救急車を要請したことになります。

入院を必要としない軽症者は１５，３５６人（対前年比２３５人減）で、昨年より減少しましたが、搬送人員のうち約５０．５％と、半数以上を占めています。

救急車は限りある資源です。「交通手段がないから」「便利だから」などの理由で利用すると、いざという時に、本当に必要な人のもとへ、いち早く救急車が駆けつけることができなくなります。救急車の適切な利用方法について、考えてみてください。

『救える命を救うために、救急車の適正利用にご協力をお願いします。』

問い合わせ先
消防局警防・救急課
０４２-７５１-９１４２

救急業務実施状況

（１）救急概要

平成２５年中の救急出場件数は３３，６８８件で、前年に比べ１，４７０件（４．６％）増加し、搬送人員は３０，３９３人で前年に比べ１，００３人（３．４％）増加しました。

このことは、市内で１日平均約９２件、約１５．６分に１回の割合で救急隊が出場したことになり、市民の約２１人に１人が救急車を要請したことになります。

（平成２５年１２月１日現在の人口：７２１，２２１人）

救 急 活 動 状 況

事 故 種 別 区 分			平成２５年（A）	平成２４年（B）	増減（C）(A-B)	増減率(%)(C/B×100)
救 急 出 場 件 数			33,688	32,218	1,470	4.6%
傷病者搬送件数			30,097	29,084	1,013	3.5%
不 搬 送 件 数			3,591	3,134	457	14.6%
事故種別内訳	火 災		139	142	-3	-2.1%
	自 然 災 害		7	5	2	40.0%
	水 難		14	10	4	40.0%
	交 通		3,101	3,175	-74	-2.3%
	労 働 災 害		264	304	-40	-13.2%
	運 動 競 技		265	222	43	19.4%
	一 般 負 傷		4,283	4,074	209	5.1%
	加 害		252	228	24	10.5%
	自 損 行 為		356	373	-17	-4.6%
	急 病		20,944	20,005	939	4.7%
	その他	転院搬送	2,816	2,691	125	4.6%
		医師搬送	15	4	11	275.0%
		資材搬送	18	16	2	12.5%
		その他	1,214	969	245	25.3%
搬 送 人 員			30,393	29,390	1,003	3.4%
性別	男 性		16,250	15,730	520	3.3%
	女 性		14,143	13,660	483	3.5%
程度別	死 亡		450	389	61	15.7%
	重 症		2,360	2,601	-241	-9.3%
	中 等 症		12,220	10,804	1,416	13.1%
	軽 症		15,356	15,591	-235	-1.5%
	そ の 他		7	5	2	40.0%

*少数点以下は四捨五入

（２）救急隊別活動状況

平成２５年中の救急出場件数３３，６８８件を救急隊別にみると、相模原本署救急隊が３，４５８件（10.3%）で最も多く出場しており、南本署救急隊、淵野辺救急隊、緑が丘救急隊、上鶴間救急隊と続いています。

また、救急隊１隊あたりの平均出場件数は約１，９８２件となっており、前年と比較して８７件増加しています。

なお、相原救急隊は、平成２４年４月１日から運用しています。

救 急 隊 別 出 場 件 数

隊別		平成２５年		平成２４年		対前年比	
		出場件数	構成比	出場件数	構成比	比較増減	増 減 率
相模原署	本　署	3,458	10.3%	3,276	10.2%	182	5.6%
	田　名	1,423	4.2%	1,376	4.3%	47	3.4%
	淵 野 辺	2,735	8.1%	2,617	8.1%	118	4.5%
	緑 が 丘	2,533	7.5%	2,444	7.6%	89	3.6%
	上　溝	2,069	6.1%	2,108	6.5%	-39	-1.9%
南署	本　署	3,192	9.5%	3,014	9.4%	178	5.9%
	新　磯	1,136	3.4%	1,108	3.4%	28	2.5%
	大　沼	2,526	7.5%	2,492	7.7%	34	1.4%
	相 武 台	2,403	7.1%	2,239	6.9%	164	7.3%
	上 鶴 間	2,527	7.5%	2,405	7.5%	122	5.1%
北署	本　署	2,485	7.4%	2,429	7.5%	56	2.3%
	大　沢	1,592	4.7%	1,728	5.4%	-136	-7.9%
	相　原	1,542	4.6%	1,045	3.2%	497	47.6%
	城　山	1,428	4.2%	1,412	4.4%	16	1.1%
津久井署	本　署	1,003	3.0%	937	2.9%	66	7.0%
	派 出 所	972	2.9%	988	3.1%	-16	-1.6%
	藤　野	664	2.0%	600	1.9%	64	10.7%
計		33,688	100%	32,218	100%	1,470	4.6%
１隊あたりの件数		1,982		1,895		87	4.6%

*少数点以下は四捨五入

（３）搬送人員

平成２５年中の搬送人員３０，３９３人のうち、急病が１９，２６５人と最も多く、以下一般負傷が４，００４人、交通事故が３，１０９人と続いています。

搬送人員を前年と比較すると、１，００３人（３．４％）増加しています。

事 故 種 別 搬 送 人 員

順位	事故種別	平成２５年		平成２４年		対前年比	
		搬送人員	構 成 比	搬送人員	構 成 比	比較増減	増 減 率
1	急　　病	19,265	63.4%	18,513	63.0%	752	4.1%
2	一般負傷	4,004	13.2%	3,815	13.0%	189	5.0%
3	交　　通	3,109	10.2%	3,233	11.0%	-124	-3.8%
4	転院搬送	2,823	9.3%	2,686	9.1%	137	5.1%
5	運動競技	266	0.9%	220	0.7%	46	20.9%
6	労働災害	263	0.9%	299	1.0%	-36	-12.0%
7	自損行為	249	0.8%	273	0.9%	-24	-8.8%
8	加　　害	222	0.7%	194	0.7%	28	14.4%
9	そ の 他	139	0.5%	109	0.4%	30	27.5%
10	火　　災	33	0.1%	38	0.1%	-5	-13.2%
11	水　　難	13	0.0%	7	0.0%	6	85.7%
12	自然災害	7	0.0%	3	0.0%	4	133.3%
計		30,393	100%	29,390	100%	1,003	3.4%

*少数点以下は四捨五入